

第3回奈良 ESD 連続セミナー 概要報告

- ◇開催日時 平成 29 年 6 月 15 日 (木) 19 時～21 時
◇開催場所 次世代教員養成センター2 号館
◇参加者 池見 (大宮小)、祐岡 (阪南大学)、田中 (ECC)、北村 (御所市教育委員)、
蔵前 (河合第二小)、中村 (済美南)、山方 (都跡小)、河野 (附属小)、
大西・池見・彌弥 (飛鳥小)、仲 (河合東小)、石田 (済美小) 中澤敦 (きんき環境館)
加藤、吉川、檜原、糸、森本、口脇、谷垣、栗谷、中澤 (奈良教育大学) 23 名

1. 我々のビジョン (谷垣)



2030 年までに実現したい社会

目指すべき世界像は 17 のターゲットとリンクしている

7－貧困、飢餓 ①・②・③・④・⑥・⑦

8－人権、ジェンダー ①・④・⑤・⑩・⑩

9－環境、生産と消費 ⑧・⑨・⑫・⑬・⑭・⑮・⑮

7 に関わる目標は開発途上国に当てはまる目標

8 は先進国・途上国の両方に当てはまる目標

9 は開発に関わって留意しなければならない目標

⑰ パートナリーシップは①～⑯の実施手段

※SDGs の究極の目標は①貧困撲滅と⑯平和と公正であろう

2. 我々の共有する原則と約束 (口脇)

① 共通だが差異のある責任とは

- ・地球温暖化など環境問題はどの国にとっても共通する課題
- ・先進国と途上国では求められている責任ある行動が違う
- ・CO2 を大量に出している国とそうでない国でその責任には差異がある。



3. 今日の世界 (森本)

(1) 直面する課題①

貧困、国内的国際的不平等、機会・富・権力の不均衡、
ジェンダー平等、失業 (特に若年層)

若年層の失業の問題

雇用の調節弁になってしまっている、転職率が高い

(2) 直面する課題②

健康、自然災害、紛争、暴力的過激主義・テロ これらが
開発の進展を後戻りさせてしまう

(3) 直面する課題③

環境の悪化 (天然資源の減少)、砂漠化、干ばつ、土壌悪化、



淡水の欠乏および生物多様性の劣化

(4) 直面する課題④

気候変動…最大の課題のひとつ

※チャンス

数百万人が極度の貧困から脱出 → 健康によい

教育アクセスの増加 → 教育に対する機会の平等

ICTの普及 人間の能力を伸展する → デジタルデバイドを埋め、平等を進める

科学技術イノベーション → 環境の悪化を食い止める

(5) 残された課題への対応

- ・母子保健及び性と生殖に関する健康の目標は軌道に乗っていない
- ・最も脆弱な部分に取り組む
- ・平和かつ包摂的な社会 平和 — 持続可能な社会
- ・ターゲットと目標の関係

相互関連性・クロスカッティングな要素

- ・多様な立場から視点に向き合う
- ・意外なものを同時並列的に扱うことで中心的な目標の解決にいたる。

4. 新アジェンダ (河野)

- ・様々な課題が重なって生じている。整理は難しい
- ・国連 SDGs 進捗状況 国連広報センターより

①貧困 8人に1人が極度の貧困状態 (2012)

社会扶助または社会的保障の受益者 低所得国では5人

に1人 上位中所得国では3人に2人

絶対的貧困：途上国

相対的貧困：先進国

②飢餓

世界の穀物生産量は足りている。しかし供給の仕方がまずい

④教育

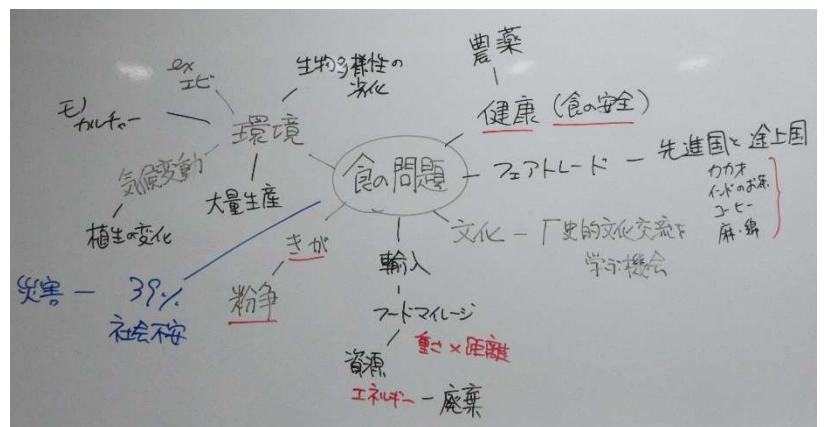
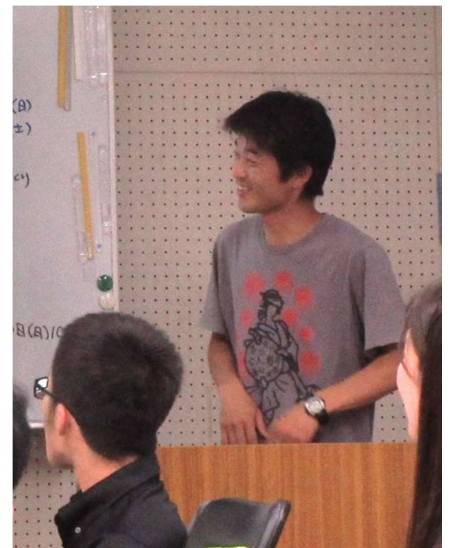
教育—貧困がつながっている

ジェンダーにもつながっている

子どもの死亡率にもつながっている

※授業は一つのテーマでいくつもの目標に関連する

多面的な見方で社会をとらえる力の育成につながる。





6. 実施手段（池見）

- ・グローバル・パートナーシップが必要
- ・多岐にわたる民間部門の連携が必要
- ・これまでに策定された様々な行動計画を着実に実施していくことがアジェンダの実施につながる
- ・紛争下の国々、紛争後の国々への支援

※資金の確保と活用、各種組織や団体との密接な連携の重要性が述べられている。

次回は7月7日（金）19時～

報告担当

- ①②③（中村）
- ④⑤⑥（石田）
- ⑦⑧⑨（栗谷）
- ⑩⑪⑫（蔵前）
- ⑬⑭⑮（池見妹）
- ⑯⑰（中澤）

